

七色の虹の架け橋シリーズ 全十一編



著者 横山 俊一

Syunichi Yokoyama

美粹書房

Bisui-shobo

七色の虹の架け橋

人間には、「良いや悪い」という二つの対極的な判断や心象が作られる。「良い」は、プラス的な認識と建設性の流れを生み、前進なる概念が起こされる。「悪い」はマイナスとなって後退的な発想や守りへの意識が強まる。これらを分ける「普通」という基準が備わり、基準との過不足から良し悪しなる配置が作られる。食べ物を食べ、「旨い」と感じる事は、「良い」に相当しエネルギーが沸く。逆に「不味い」となっても、エネルギー補給の面では満たされ、機能的な力は生まれる。食べ物を作ってくれた人は、自己の好みを良く鑑みて、旨いものを提供するか、まるで嗜好を伺わずに、喜びの表情を浮かべずに、逆に、悲しい表情を求めて不味い食べ物を作る事も想定される。このように、生物物理上の因果性が浮かび上がると共に、心理面での因果を起こす主要な現象への認識が作られる。これが観点という思考を起こす概念と備えられ、基準と誤差を形成する骨格的な構図と描かれる。「良し悪し」という感覚や心象が生まれる根源性は、生命の増進性と後退性の因果を根に発生する。生命の前進性や躍動的な状態に、喜びや楽しさ、快適感を浮かべ、生命の萎縮性や閉塞性、減退感に、悲しさや怒り、不快を抱く。この基本的な因果方式を基礎に、各種個別場面での直接的な「良し悪し」が生まれると共に、事実形成の因果性が掘み出され、問題や好感の生まれる原因が特定されて、負は削減や予防、正は伸張性の流れを起こす。

この直接性から間接の因果を広げて、事前予防的な手立てを講じる思考力が作られる。直接の実感に及ぶまでの幾多の工程や連なりを思い浮かべながら、不快へ及ぶことのない上流工程へ視線を送り、予めの施策を投じて最悪的な因果への回避を図る思慮と行為が作られる。観点の多様性と共に、直接間接の因果を浮かべ、複雑多様な相関を抱くと共に、良し悪しへの感覚や心象も、単純なことから複雑な変数をもって形成される事柄などが起こされる。

「二項対置概念」に対して、自然や人間、道具という主要なプレーヤーが知覚され、生物、物理、心理という因果性を起こし、且つ直接間接の現象という相関を浮かべ、そして正は負との相対で抱く事や、絶対性の基準から見る正負の判断などという構図を生む。「良い悪い」という集約的な態度へ至るまでに、多種多様な変数と組み合わせが起こり、判断へ及ぼせる様相が確認される。

物理感覚で慢性化される体質が深まるほどに、物理的効用への意識が高まり、短変数化した算式と判断を作り、即効的な快不快や喜怒哀楽を強められる。これによる争いの過敏性への危惧が高まり、生物的な仕組みへの問い合わせや心理的良性を求め最適解を作る発想へ及び、持続可能な中長期性の算式を求める態度が進められる。破滅性の流れに適当さを起こし、持続的な再生産を編成し好循環軌道を図り、エネルギーのプラス的な発想が上回るような創造性へ至って、長きに渡る利益を享受される。単純二項の判断から、七色程度の観点を常態させ、虹の橋を架けるような創造性へと発展し、成熟した物事の知見の形成や探求心が向上する動態が描き出される。人間の幸福感を作り上げるには「七色の虹の架け橋」なるビジョンが描かれる。



第一編 生産性の具象化	第二編 主体	第三編 人間学の要諦	第四編 集約	第五編 総論
<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第一編 生産性の具象化</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美粋書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第二編 主体</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美粋書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第三編 人間学の要諦</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美粋書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第四編 集約</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美粋書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第五編 総論</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美粋書房 Bisui-shobo</p>
A5 60ページ 43,751文字ほど 2014年5月 執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 380円(税抜き)	A5 49ページ 62,606文字ほど 2014年6月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 380円(税抜き)	A5 75ページ 73,357文字ほど 2014年7月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 430円(税抜き)	A5 72ページ 73,357文字ほど 2014年8月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 470円(税抜き)	A5 79ページ 58,225文字ほど 2014年9月執筆 2017年3月発行 定価 480円(税抜き) 著者 横山 俊一
はじめに、 第一章人間平等と繁栄、 二章哲学・文化の背景、 三章生産の初動、 四章生産性の認識と解説、 五章現代文化論講座概要、 六章基本作法や用語の整理、 図表、書籍目録、	序章根源的静、 一章長期周期の反復性、 二章主体性学の確立、 三章世界の最良性、 四章教育・文化、 五章主体性の問い合わせ、 図表、書籍目録、	序章文化の灯、 一章社会現象の主要な観点と文化政策、 二章根源価値と創造性、 三章長期的利益概念、 四章健全な主体性の形成、 図表、書籍目録、	序章文化の灯、 一章社会現象の主要な観点と文化政策、 二章根源価値と創造性、 三章長期的利益概念、 四章健全な主体性の形成、 図表、書籍目録、	序章今日的な主体性の問題面と健全な主体性の形成原理、 一章静態と動態の基本構造と規則性、 二章文化政策の粗筋、 三章文化観、四章文化政策体系、 五章動静観、 六章真なる調和への道－永遠の生命、七章真なる調和への道－七色の虹の架け橋、 図表、書籍目録、

第六編 基礎	第七編 活動観念	第八編 主体性学	第九編 生産原理	第十編 動静概念
<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第六編 基礎</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美幹書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第七編 活動観念</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美幹書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第八編 主体性学</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美幹書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第九編 生産原理</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美幹書房 Bisui-shobo</p>	<p>日本文化原論Ⅱ 七色の虹の架け橋 第十編 動静概念</p>  <p>著者 横山 俊一 2017年3月7日</p> <p>美幹書房 Bisui-shobo</p>
<p>A5 57ページ 58,225文字ほど 2014年10月 執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 430円(税抜き)</p> <p>序章生産性と人間性、 一章歴史と理論、 二章基本理論－創造力の初動概念、 三章人間学の構成、 四章現況認識、 五章創造、 図表、書籍目録、</p>	<p>A5 49ページ 50,088文字ほど 2014年11月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 430円(税抜き)</p> <p>一章活動の原型と健全性、 二章理想と現況と方法のサイクル、 三章価値形成－普遍性と独自性の創造力、 四章能力向上、 五章真なる調和への道、 図表、書籍目録、</p>	<p>A5 75ページ 57,926文字ほど 2014年12月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 450円(税抜き)</p> <p>序章主体性の創造、 一章主体性の動作、 二章主体性の構造、 三章主体性の良性、 四章主体性の纏め、 図表、書籍目録、</p>	<p>A5 72ページ 33,927文字ほど 2015年1月執筆 2017年3月 発行 著者 横山 俊一 本体価格 380円(税抜き)</p> <p>序章生産性概念、 一章欲求と実現のシステム、 二章哲学・文化観－正の遺伝子、 三章文化の力、 図表、書籍目録、</p>	<p>A5 79ページ 51,350文字ほど 2015年2月執筆 2017年3月発行 定価 430円(税抜き) 著者 横山 俊一</p> <p>動静概念、静態構造、 一章主体性の形成、 二章感性の根源性、 三章平等思想と健全性と創造力、 四章活動観念－理想と現況と方法のサイクル、五章理想の形成、 六章現況認識と仮設想定、 七章方法、 図表、書籍目録、</p>

第十一編

真理の探究

日本文化原論Ⅱ

七色の虹の架け橋 第十一編 真理の探究



著者 横山 俊一
2017年3月7日

美粧書房 Bisui-shobo

A5 79 ページ
71,991 文字ほど
2015年3月執筆
2017年3月発行
定価 460 円(税抜き)
著者 横山 俊一

一章健康な精神性、
二章真理の探究軌道、
三章不動的根源原理、
四章哲学、倫理道徳の形成、
五章主要な論理、
図表、書籍目録、